

第3回 法政大学環境教育 zero 笑 mission (第21号)

「法政大学環境教育 zero 笑 mission」は、小学生を対象に、環境教育の活動をしているサークルです。自分たちで考えたオリジナルのゲームや授業を通して、子どもたちが環境問題について考えるための”きっかけ”を作り、子どもたち自らが環境意識を持ち・考えるような”こころを育てる”、ということを目指して活動しています。”きっかけ”づくりを目標に4年前に活動を開始し、現在は10名で、大学の周辺の児童館や小学校を主なフィールドに、日々試行錯誤をしながら活動を行っています。

現在、定期的に行っている活動をご紹介します。

その一つが「ゼロ笑み塾」です。この活動は、千代田区立富士見児童館にて、月に2回、隔週で行っています。4年前に児童館の先生方に活動をさせてほしいとお願いをしてからずっと、先生方と協力して行っています。毎回、環境について楽しく考えられるゲームを行っていて、これまでに行った企画の一つを挙げると、水に関するジェスチャーゲームがあります。学生が、サラダ・カレーライス・ヨーグルトなどの何らかの食べ物を料理しているところをジェスチャーで表し、何を作っているのか当ててもらいます。そしてそれぞれの食べ物を食べ終わった食器を洗うとどのくらい水を汚すのかを、実際に排水をペットボトルに入れたものを準備し、見てもらいました。このゲームでは、自分たちが何かを食べた後にはいつも水を汚しているのだ、ということに気づき、再確認することを目的としていました。子どもたちは興味津々に参加してくれました。

また、文京区立林町小学校では、社会科や総合学習の時間の一部で活動させていただいています。昨年は、6月に4年生、10月に5年生を担当しました。まちづくり、森林保全、世界の水問題、NPO・NGOについて、生活公害という5つのテーマのワークショップ形式で行い、子どもたちは自分の好きな分野を選んで参加しました。先生方も何度も話し合い、検討を重ねたことで、自分たちにとってもとても勉強になりました。今年度も10月に行う予定です。

他にも、児童館の先生の紹介や小学校の活動でつながりを持った団体の皆さんの紹介で、長期休みや秋のお祭りの時期に、イベントに参加することもあります。

私たちは、どの活動をするときもじっくりと話し合っって企画を考えることに気をつけているので、一つひとつの活動から学ぶことがたくさんあります。子どもたちに環境問題を自分のこととして受け止めてもらうにはどうしたらいいか、どうしたら”こころ”に響く伝え方ができるのか、など実践しながら考えていくことで、これからも活動内容をより向上させることができたらいいと思っています。